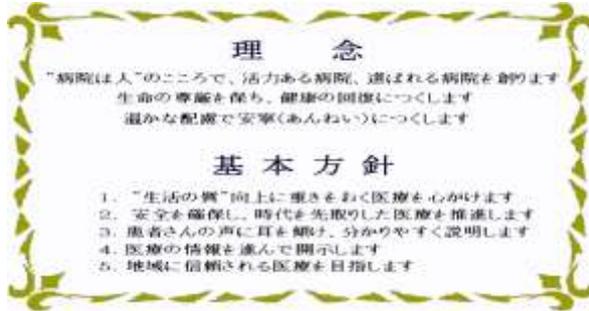




令和 2 年 10 月 1 日 発行
KKR 札幌医療センター
〒062-0931
札幌市豊平区平岸 1 条 6 丁目 3-40
電話 (011) 822-1811
<http://www.kkr-smc.com>

(2020-10 号)



手術室を増設しました～道内有数の広い手術室です～

麻酔科部長 山根 真央

当院の手術室は中央診療棟の3階にあります。正面玄関裏の茶色の外壁の建物です。この建物は同一に見えますが、平成 7 年に新築し、平成 17 年、平成 29 年に増築となりました。よくみると継目があることが外観からも判ります。増築に伴い手術室の数も 4 部屋だったものが 7 部屋に増え 今回の新規増築で 1 室増えました。

この合計 8 室の手術室で年間約 3000 件の手術が行われています。

今回増築した手術室の建物は、現在外来として運用している仮設の建物の横にあり、駐車場へ南側に出っ張っている形で位置しています。窓が少ない外観で特異な感じを受けますが、手術室があることが理由の一つです。

手術室は大型医療機器（手術ロボット、ハイブリッド透視装置）の導入にも対応できるように、電気設備、空調、建物の構造を設計し施工してあります。また、手術室は約 85 平方メートルと道内有数の広さです。学校の教室よりも広いです。ちなみに当院の他の手術室の面積は約 30 平方メートルです。

当初は完工と同時に稼働する予定だったのですが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり設備導入が遅れ、今年の 8 月より使用しています。

現在は、清潔度を要求される整形外科の人工関節手術、大型医療機器（透視装置など）と多種の医療デバイスが必要な脊椎の手術などに使用しています。

当初はハイブリッド透視装置などを設置する計画もありました。ハイブリッド手術室でなくても、大動脈瘤のステント手術、脊椎の除圧固定術等、従来の透視装置でも他病院と遜色ない実績をあげています。大型医療機器の導入は広報誌、ウェブでもお知らせしやすく、見栄えもするのですが、15 年たつとメンテナンスの関係で使用が難しくなってきます。今後地域住民の皆様のニーズにそって適切な時期に、大型医療機器を導入していく所存です。そのための「ハコモノ」を今回用意することができました。

当院は ≪ 敷地内全面禁煙 ≫ となっております

糖尿病の合併症と検査

臨床検査科 合田 真悟

糖尿病はインスリンの作用が不足し、血糖値が高い状態になる代謝疾患です。著しく血糖値が高いと、昏睡などの急性合併症が起きますが、その他にも数年～数十年の経過でゆっくりと生じてくる慢性合併症があります。慢性合併症には、細い血管がもろくなって生じる細小血管症と太い血管が硬く狭くなること(動脈硬化)で生じる大血管症があります。

ここではこれらの合併症を調べる検査について紹介します。

細小血管症

- ・網膜症…網膜の血管が悪くなり、ひどくなると網膜出血や剥離などが起きます。
- ・腎症…初期は無症状が多いですが、悪化すると腎不全になり透析が必要になります。
- ・神経障害…痺れや麻痺が起きたり、痛みを感じにくくなったり様々な症状があります。

検査の種類	内容	調べる合併症
眼底検査	眼底カメラを用いて網膜の観察を行い、血管の破損や詰まりが無いかなどを確認します。	網膜症
尿,血液検査	採尿や採血で、尿中アルブミン,尿たんぱく,血清クレアチニンなどを測定して腎機能の低下を判断します。	腎症
神経伝導速度検査	皮膚の上から神経に電気刺激を加え、刺激が伝わる速度などを測定します。障害があると速度は低下します。	神経障害
心電図心拍変動検査	呼吸による心拍の変動を、心電図波形で測定します。深呼吸を繰り返してもらい、100拍とって変動を見ます。障害がある場合には変動が小さくなります。	自律神経障害

大血管症

- ・狭心症,心筋梗塞…冠動脈が狭くなったり詰まったりすると心筋が虚血状態になります。
- ・脳血管障害…脳に栄養を送る血管が詰まったり、破れたりする状態のことです。
- ・末梢動脈疾患…足や手の血管の動脈硬化が進み、冷感、痺れ、痛みが起きます。

検査の種類	内容	調べる合併症
トレッドミル運動負荷	運動負荷をかけた時の心電図変化を観察することで、心筋虚血の有無を調べます。	狭心症 心筋梗塞
頸動脈エコー検査	超音波で、頸動脈の詰まりやプラーク(コレステロールを主体とする動脈硬化巣)の有無を調べます。	脳血管障害
血圧脈波検査 (ABI/CAVI) (えーびーあい/きゃび)	ABIは足の血管の詰まり具合を、CAVIは心臓から足首までの動脈の硬さをみる指標です。上腕と足首に血圧計を巻き、胸に心音マイクを置いて検査します。	末梢動脈疾患